

第11回

高浜市の未来を描く市民会議【報告】

★「こんなことに取り組みます」を具体化しよう！

★高浜市の財政状況(財政状況編)をお知らせします！

日時 平成22年10月22日(金)

午後7時～9時

場所 高浜市役所 第2会議室

1. 「こんなことに取り組みます」を具体化しよう！

◆STEP1 「アクションプラン」とは？

- ・事務局より、パワーポイントにより「アクションプランとは」の説明。

◆STEP2 アクションプラン(案)をご紹介します

- ・各所管グループリーダーより、パワーポイントによりアクションプラン(案)について説明。

(1) 市民とともに歩む経営を行います

★総合計画進行管理事業

☆わかりやすくお知らせします事業

(2) 次世代のために、健全な財政運営を行います

★行政評価システム運営事業(事業仕分け)

☆わかりやすい財政運営事業

(3) 市民と行政が信頼関係を深め、ともにまちづくりを行います

★自治基本条例推進・普及啓発事業

★市民予算枠事業

(4) 学びを通して人づくりを進め、夢と希望につなげます

★生涯学習基本構想策定事業

☆生涯教育活動推進事業

(5) 心たくましく健やかに育つ教育環境をつくります

★教育基本構想策定事業

☆教育環境整備事業

(6) 人のつながりやぬくもりの中で、子育て・子育てを支えます

★放課後居場所事業

★子育て・家族支援ネットワーク事業

(7) まちの成長を支えるエンジンとして、産業を元気にします

★がんばる事業者応援事業

☆中小企業振興推進事業

(8) 地域に根ざした新たなビジネスの芽を育みます

★コミュニティビジネス創出・支援事業

☆観光推進事業

(9) みんなでまちをきれいにします

★みんなでまちをきれいにします事業

★環境に配慮した防犯灯設置事業

(10) ハーモニーを奏でる快適な都市空間をつくります

★一般国道419号高浜立体事業

☆いきいき号循環事業

(11) 自然豊かな魅力あふれる憩いの場を守り、育てます

★衣浦港高浜緑地スポーツ施設整備事業

☆緑のあるまちづくり事業

(12) 安全・安心が実感できる基盤づくりを進めます

★防災ネットワーク推進事業

☆交通安全施設維持管理事業

(13) 一人ひとりを認め合い、その人らしく暮らせるまちづくりを進めます

☆地域福祉推進事業

☆地域福祉活動応援事業

(14) 一人ひとりの元気と健康づくりを応援します

☆「健康たかはま21」推進事業

◆STEP3 分科会ごとに意見交換をしよう（約15分）

◆STEP4 意見交換の内容を披露しましょう

【生涯学習分科会 高桑雄司さん】

- ・生涯学習と言うと、ある程度年を取ってから、全うするまでを考えるのではないかと思うが、仕事を選んだきっかけや趣味のきっかけは、子どもの頃に受けた指導や体験、憧れの機会があっただろう。そのため、子どものときの根っこをしっかりと押さえていけば、生涯学習のサイクルが出来ると考えた。

⇒【文化スポーツG 山本時雄GL】

- ・お話があったように、また市民の皆様のお力をお借りして、より良い生涯学習に持っていければと、改めて厚い決意を持った。

【行財政運営分科会 神谷正巳さん】

- ・目標1の「市民とともに歩む経営を行います。」という項目の中で、「市民とともに」が大きくクローズアップされると思う。今までこの市民会議という形で計画づくりを進めてきて、せっかく仕組み・システムが出来たのだから、これから、より具体的に「どうしよう」というところに観点を変えて、市民会議を継続していくべきだと思う。
- ・その中で、参加する人も知識がなければ出来ないため、勉強する機会も必要だが、それにも増して、情熱のある人が加わっていくと良い。市民力をあげるためにも、いろいろな情報を出していく活動をお願いしたい。
- ・事業仕分けについても、市民が参加するに当たっては、評価・ジャッジするための市民力を上げることが大切。市民参加への配慮と判断に必要な十分な情報量を提供いただければと思う。

- ・予算に関しては、「わかりやすい予算」として説明していただいたが、今までも広報で「予算の枠組みはこう」「予算はこういう風に決められた」という報告はあった。それにも増して、もっともっと分かりやすくするために、何か具体的な施策があれば、聞かせていただければと思う。

⇒【地域政策 G 神谷美百合 GL】

- ・この市民会議をリニューアルして継続していったらどうかという提案については、ぜひそうしたいと考えている。出来れば、ここにお見えの皆さんのご協力を、来年度以降もいただきたい。さらに、まちづくりの仲間を増やしていくという意味でも、新しいメンバーの方にも入っていただけて続けていきたい。

【財務評価 G 竹内正夫 GL】

- ・これまで広報・HP を通じて、一応は公表をしてきたが、市民の方に分かっていただけないと、それは、公表にはならない。分かりやすい言葉を使用したり、市民の方が理解してもらえる公表をしていきたい。

【子育て・子育て分科会 鈴木康博さん】

- ・大人が動きすぎになりがちなので、子どもたちに本当に受け渡していくことが必要。それと同時に、地域でもっと見守る体制を作っていきたい。まち協との連携などもあると思う。全体的には、押し付けにならないようにしていくことが重要。
- ・私たちの想いを、こうしてアクションプランとして言葉にしてもらったことで、実現の担保になっている。市民と行政が一体となってやっていかなければならないのが、今回の市民会議であり、この案をつくった我々市民の責務の1つだと感じている。

⇒【こども育成 G 大岡英城 GL】

- ・地域の保育力が重要であり、地域と行政が協働・連携した子育て支援でなければならない。そのためにも、行政としても情報共有をしていきたい。

【教育分科会 竹内一仁さん】

- ・教育基本構想の策定を進めているが、生涯学習や幼保小中一貫なども挙げているので、子育て・子育てや生涯学習と協働だったり、どういことを話しているかというところを聞きながら、基本構想策定につなげていきたい。そのため、出来れば、生涯学習分科会、子育て・子育て分科会と一緒に、検討する場を設けていただきたい。
- ・他の分科会で検討されている情報が見られるよう、情報公開の仕組みが出来ないか。お互いの情報が簡単に見れるようになっていけると、キーワードや必要な情報が得られると思う。

⇒【学校経営 G 中村孝徳 GL】

- ・教育基本構想の策定委員会で、大筋のプロットが決定した。そこで、すり合わせを行っていくということで、生涯学習や子育て・子育てと合同の分科会を開かせていただきたい。

【文化スポーツ G 山本時雄 GL】

- ・生涯学習基本構想を進めていく中でも、教育や子育て・子育てとのリンクが当然必要になるだろう。

【こども育成 G 大岡英城 GL】

- ・おっしゃる通り。

【事務局】

- ・情報共有に関して、全体会と自治基本条例については、HPに掲載。その他については、職員の中で情報共有ということで、見られるようになっていたため、知りたい情報があれば、事務局または分科会の職員にお尋ねいただければと思う。

【自治基本条例分科会 板倉良平さん】

- ・自治基本条例を市民にさらにPRしていくことが非常に重要。現在、広め隊としてPRに努めているが、今後も協力していきたい。寸劇をしたらどうかという意見もあった。楽しく、分かりやすくPRしていきたい。行政はもちろんだが、市民が出来ることは市民が協働して、PR計画をつくっていきたい。

⇒【地域政策G 神谷美百合GL】

- ・自治基本条例が出来たら、全市的に推進やPRをしていくことが不可欠だが、「広め隊を継続してやっていく」という力強いご意見をいただいた。PRの計画づくりから市民の方に関わっていただきたい。

【健康分科会 神谷通夫さん】

- ・「健康たかはま21」は、健康づくりや介護予防に関する非常に良い資料。その見直しをして、3月に必要な方にお渡しできるという形になる。高齢者の方に、ウォーキングや健康体操などの運動講座の情報を、各グループやまち協に発信していただきたい。

⇒【保健福祉G 加藤一志GL】

- ・「自分に出来ること」「地域で出来ること」「行政と一緒にやること」という切り口から始めてきた。引き続きご協力をお願いしたい。

【地域福祉分科会 阿知波勝義さん】

- ・提言したことは大体網羅されていると感じている。
- ・こういう場に、もっと若い人が入れるチャンスが出来たら良い。
- ・専門的な言葉が多く、分かりづらいという意見もあった。これに関しては、パンフレットなどを作っていただくなど、分かりやすいものが欲しい。
- ・ボランティアの支援サポート部門が社協の中に出来るということだが、その中に福祉活動提案を受けてもらえるということになると良い。今は、どこに持っていったらいいのかわからないので、明確にしてほしい。
- ・イベントも色々やっていきたい。各小学校の校庭開放でも、その中で、障がい者が一緒になって出来るようなスポーツやイベントを考えていきたい。
- ・福祉支援教育を全市民向け、特に障がい者の教育ではなく、我々が障がい者を知るという教育が活発に行われていったら良い。

⇒【地域福祉G 長谷川宜史GL】

- ・地域福祉の分野は、主役も主体も市民の方が中心。また、地域福祉は、決まった答えがない取り組み。これからも市民の方としっかりコミュニケーションを図って、市民の方が地域福祉活動に積極的に取り組んでいただけるような支援を一緒になって取り組んでいきたい。

【環境分科会 鈴木将巳主事】

- ・まちにゴミが落ちていたり、雑草が生い茂って手入れされていない状況を見るのは恥。町がきれいであれば、町内会もしっかり動いていると感じる。不法投棄の早期回収や防止対策をしっかりと、少しでもまちをきれいにしていきたい。

【環境分科会 竹内亨弘さん】

- ・まちをきれいにするというのは、「大家族たかはま」として、市民全員の参画がないときれいにならない。そのため、市民全員が参画していくという動機付けを、もう少し迫力を持って入れていただけると良い。
- ・不法投棄は、まちのモラルや市民のレベルを評価される典型的なもの。もし、不法投棄が発生しているとしたら、他市よりも早期発見・回収をするというスピード化をしてほしい。

⇒【市民生活G 芝田啓二GL】

- ・不法投棄は、市民の皆さまの恥だという言葉は、心にきた。裏を返せば、「きれいなまち たかはま」を希望されている、高浜市を愛していただいていると理解をした。行政としても、一生懸命取り組むが、力不足な面もあるので、環境美化推進委員の皆さま・団体のお力添えをいただきながら、“みんなで”まちをきれいにしていきたい。
- ・スピード化についても、皆さんからのたくさんの目を見ていただいて、情報があれば、行政と連動しながらみんなでまちをきれいにしていきたい。

【都市基盤分科会 神谷和之さん】

- ・他にもアクションプランがあるということなので、期待して楽しみにしている。
- ・今まで、行政への関心が薄かったが、こうして市民会議に参加させていただき、“高浜市が活着ている”という感じがした。

⇒【都市整備G 平山昌秋GL】

- ・都市基盤については、色々分野があり、新しいことを今からやっいていこうというのは難しい。今の既存の道路や公園を、市民と一体となって新しい安全のまちにしていきたい。市民と協働で公園づくりやゴミ拾いについても、新しいものではなく、今のものをより良く整備していきたいと考えている。

【産業分科会 神谷環光さん】

- ・コミュニティビジネスについて、まち協と協力して新しい事業の立ち上げを検討されているところもあるらしいので、そういうところも応援してほしい。
- ・商店街の奮起していただくための攻めが必要。
- ・分科会で話し合っていた頃より、円高が進んでいる。このままでいくと、高浜市の税収はかなり落ち込むだろう。役所側としてあまり積極的でない企業誘致に関しては、真剣に力を入れて、財政の入りを増やすということをお願いしたい。

⇒【経営戦略G 深谷直弘GL】

- ・産業は、エンジン。高浜市を支えていく事業だと思っている。ご指摘を真摯に受け止めてやっていきたい。

2. 高浜市の財政状況(財政状況編)をお知らせします！

- ・財務評価グループより、「わかりやすい予算書」、「平成23年度予算編成スケジュール」について、資料に基づき説明。

3. お知らせ

＜第12回＞ 日時:11月16日(火)午後7時～ 場所:高浜市役所 第2会議室(4階) 他
内容:基本計画の修正案を検討しよう(予定)
(みんなで目指すまちづくり指標 目標値の検討 など)



▲STEP2 アクションプラン(案)をご紹介します



▲STEP2 アクションプラン(案)をご紹介します



▲STEP2 アクションプラン(案)をご紹介します



▲STEP3 分科会ごとに意見交換をしよう



▲STEP3 分科会ごとに意見交換をしよう



▲STEP3 分科会ごとに意見交換をしよう



▲STEP3 分科会ごとに意見交換をしよう



▲STEP4 意見交換の内容を披露しましょう



▲STEP4 意見交換の内容を披露しましょう



▲STEP4 意見交換の内容を披露しましょう